

2023年1月26日発信

住友生命グループ アイアル少額短期保険

発売3日で契約1万件突破のPayPayほけん「インフルエンザお見舞い金」
生保エコシステム「生命保険給付金支払いプラットフォーム」を採用 Q&A

Q: 生命保険給付金支払いプラットフォームとはどんなものですか？

A: 給付金支払いの期間短縮を目指し、2021年より提供開始したサービスです。

本プラットフォームでは、「給付金支払判定に必要な書類をAI-OCRで読み取り」「OCR後テキストを解析の上、手術や薬剤等へのコード化」「治療目的病名に紐づく支払判定自動化」「保険会社それぞれの環境への簡易な連携」4つの機能を組み合わせることができます。

企業の状況に合わせて、必要な機能を選択・導入することで、柔軟に利用開始でき、保険会社支払担当者への入力・チェックなどの事務負担を大幅に軽減することができます。

今後は業務開始した参画企業からの学習データを集めて各社横断でのAI-OCRの精度向上・改善を行っていくとともに、順次参画希望の保険会社・少額短期保険会社やサポート企業の拡大を予定しております。

Q: 現在参画している保険会社はどこですか？

A: チューリッヒ生命保険、メディケア生命保険、アイアル少額短期保険の3保険会社が参画しています。

◆チューリッヒ生命保険株式会社が支払査定の一部をデジタル化し顧客サービス向上と査定業務の自動化・事務効率向上を実現 リリースは[こちら](#)

◆メディケア生命保険株式会社が支払査定の一部をデジタル化し顧客サービス向上と査定業務の事務効率向上を実現 リリースは[こちら](#)

◆住友生命グループのアイアル少額短期保険が新たなデジタル保険で、支払査定を効率化PayPayほけん専用商品として提供する「熱中症お見舞い金保険」にて採用
リリースは[こちら](#)

Q: 今後参画する予定の保険会社はありますか？

A: 今後も複数の大手生命保険会社の参画予定がございます。